



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



前期終了、実りの秋「後期」へ -2学期制のよさを生かす-

過去最高気温を記録した9月の猛暑もようやく収まり、爽やかな秋が訪れました。秋には、生活科遠足や社会科見学、音楽会に小体連、マラソン大会、稲刈り、宿泊学習、そして修学旅行。スペシャルな行事の準備、練習を通して、**子ども達の学ぶ意欲や、生きるためのたくましさ、そして他との共生力を伸ばし高めていきたい**と考えています。

また、12月の人権週間に先立って、11月から全校あげて「自他の人権尊重」について、学んでいきます。**人の立場や気持ちを理解して、分かり合って、助け合って生活していく力を育てること**は、諫小の全ての子どもたちの発達目標として、指導の徹底・充実を図っていきたく強く思っています。

目指す児童像 『豊かな子』 ※学校の守り神『ひあっしー』

<p>明るく、思いやりのある子 【徳】明るさ、思いやり</p>	<p>夢に向かって、自ら学ぶ子 【知】自ら学ぶ</p>	<p>身体を鍛え、最後までやりぬく子 【体】最後までやりぬく</p>
-------------------------------------	---------------------------------	--

予測困難な未来を生きぬく資質・能力、人間性の育成
【知識・技能】【思考力・判断力・表現力等】【学びに向かう力・人間性】

<p>徳【自然や生命など崇高さへの理解】 『美しい心』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しいものや素晴らしいものに気づき、感動する。 ・生命の尊さを知り、いのちあるものを大切にする。 	<p>知【自己理解と自己肯定】 『大好き 自分』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことをよく知り、大事に思う。 ・自分に自信をもつ。 	<p>体【自立】 『自分の力で』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを自分でする。 ・自分で考えて行動する。
<p>徳体【自律】 『自分にきびしく』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でできたことは、最後までやりとげる。 ・社会のルールを大切にし、自分の感情や行動をコントロールする。 	<p>徳【自他の尊重】 『認め合う仲間』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの気持ちや考えを大事にする。 ・自分の言葉や行動で、人を傷つけない。 	<p>【協働のためのコミュニケーション】 徳知体 『力を合わせて』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや考えを分かりやすく伝え合う。 ・役割を進んで見つけ協力する。

後期にがんばりたいこと 六年二組代表児童

小学校生活も残りあと半年となりました。小学校最後のま
とめとして私が後期でがんばりたいことは二つあります。

まず、一つ目は、算数の学習です。私は算数の土台となる基礎はできているのですが、発展した問題は苦手で、自主的に学習しようとしていませんでした。そのため、なかなか得意にならないのだと自分ではわかっているのですが、発展した問題に取り組む時間を見つめることができなまま前期が終わってしまいました。私は、自主学習をしたり、空いている時間を見つけて問題を解いたりすることで算数の基礎の力が身に付き、発展した問題もしっかりと解く力がついていくと思っています。だから、後期からは自主的にたくさん問題に取り組んで、算数の力をのばしていきたいです。

二つ目ががんばりたいことは、卒業式の練習です。私は、今年で小学校を卒業し、中学校に入学します。これまでの諫早小学校の先輩方は、卒業式に向けての厳しい練習をしてきたからこそ、すばらしい卒業式が成り立っているのだと私は思います。私も今年の六年生、卒業生としてはじにならないような卒業式を行いたいですが、みんなが心を一つにしないと完璧な卒業式はむかえられません。日々の練習でも、本番と思って練習しないと本当の力はつきできません。だから私は、練習の時からひとつひとつの動作をていねいすることを意識していこうと思います。そうすることで最高で感動する卒業式になると思います。卒業式は六年生が主役なので、しっかり頑張りたいです。

最後の小学校生活をよりよいものとするためにも、日々の学校生活を大切に過ごしていきます。後期も学校のお手本、学校のリーダーとして、この諫早小学校をしっかりまとめていきたいです。

4 年長崎平和学習

暑さのため 2 週間延期していましたが 4 年生長崎平和学習を実施しました。暑さは残ったものの、さらっとした秋の風が心地よく、みんな元気に長崎の町を歩き回りました。

原爆投下につながる長崎爆心地公園、平和の泉、平和公園（祈念像）、原爆資料館等を回り、当時の惨状を五感を通して感じ取っていました。

「戦争や争いごとのない世界へ、周りの人と手を携えて仲良く暮らせる毎日へ」、みんなが幸せに暮らせる世界を築いていく一人としての自覚を深める価値ある長崎見学となりました。



全校でつくった折り鶴を慰霊碑に捧げました。



5 年 座禅

(ひあしっ子育成事業実行委員会)

ひあしっ子育成事業実行委員会のご協力のもと、生活指導部や 5 年生保護者の皆さんと一緒に、座禅体験に出掛けました。住職さんの有難いお話に足がしびれながらも聞き入り、体験では警策（けいさく）の音がお堂に響く度に、身も心も引き締まる思いがしました。

心を落ち着かせ、静かに自分を振り返ること、そしてこれからの自分について思いを広げること、そんな時を日常生活の中でも作りたいものです。

後悔しない後期にするために 六年一組代表児童

小学校に入学して、あつという間に五年半が過ぎました。こうして今、今年の前期を振り返ると、たくさん後悔していることがあります。そこで私は、後悔しない後期にするために、目標を三つ決めました。

まず、一つ目は、体育の学習です。私は、体育がどちらかというと得意なほうで、いろいろな競技で苦戦することはあまりありませんでした。でも、周りから見ると限界までやっていないと言われることがあります。その時、「ただ運動ができるだけいい。」と思っている自分に気づきました。もっと速く、もっと上手にと、限界まで挑戦できるように、必死に練習することが足りなかったと思います。十月二十九日には小体連があります。わたしは、この小体連で自分の納得いく結果を出せるように限界まで挑戦したいと思います。

次に、二つ目は、自分の意見をはっきり伝えることです。私は周りの人に何かを主張することが苦手で、何度かやってみようと思いましたが、戦うことがありますが、なかなか話すことができませんでした。でも、自分の意見を話さないと、周りの人に伝わってきません。本当の意味でみんなと仲良くなるためにも、少しずついいから、自分の意見を言うように頑張っていきたいです。

最後に、三つ目は、何事にもあきらめずに取り組むことです。これまで、自分で目標を立て、何事もうまくいこう、工夫してきました。しかし、目標を立て、実行するところまではできるのに、それを続けていくことができません。そこが私の一番の課題だと思いました。だから後期は、あきらめずに続けることを目標にして頑張りたいです。

卒業まであと半年、大人になって自分の小学校時代を振り返ったときに後悔しないような自分になるために、残りの日々をがんばって、ひあしっ子の六つの能力をすべて身につけて卒業したいと思っています。